



2010

ANNUAL MEETINGS
International Monetary Fund
World Bank Group
Washington, D.C.

Press Release No. 3 (J)

October 8, 2010

Address by **ROBERT B. ZOELLICK**,
President of the World Bank Group,
to the Boards of Governors of the World Bank Group,
at the Joint Annual Discussion



2010

ANNUAL MEETINGS

International Monetary Fund
World Bank Group

Washington, D.C.

国際通貨基金・世界銀行グループ

2010年年次総務会

ワシントンDC

仮訳

抵抗力、結果、改革 危機対応と今後の取組み

ロバート・B・ゼーリック
世界銀行グループ総裁
年次総会全体会合

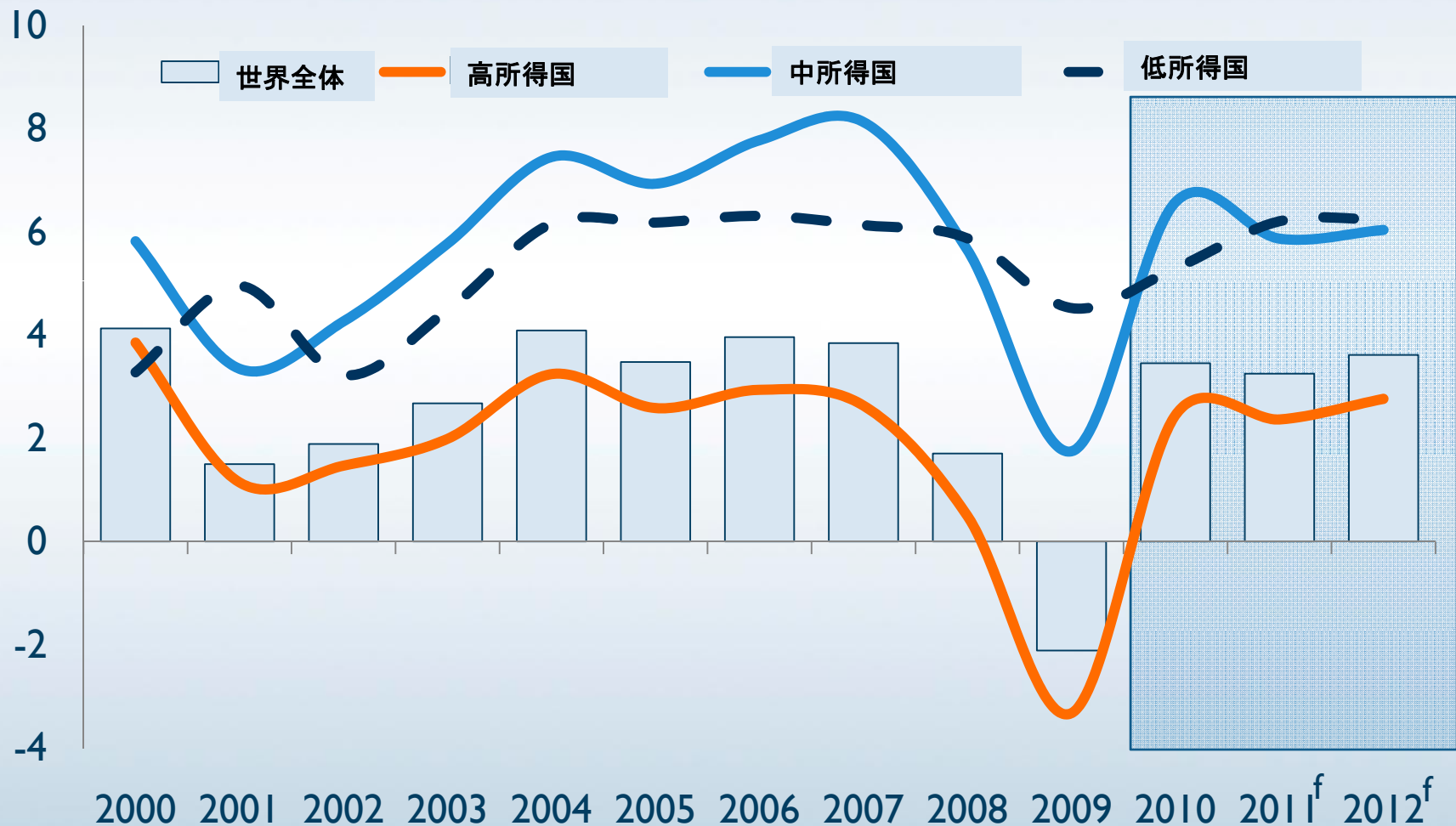


1. 危機の2年間

2年間

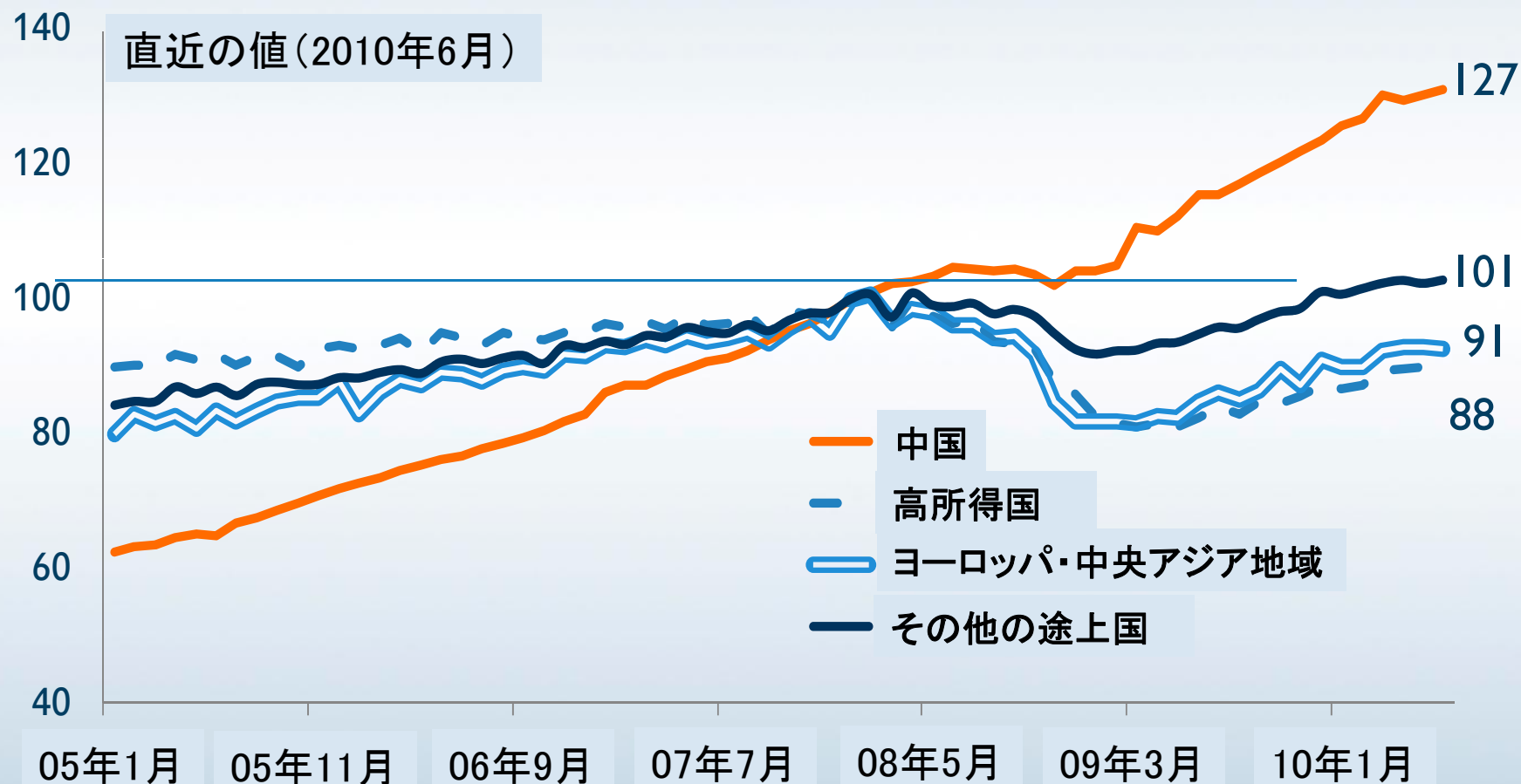
世界経済は回復 ただし失業率の大幅回復には不十分

GDP実質成長率(%)



生産は危機前を下回ったまま

高所得国、ヨーロッパ・中央アジア地域



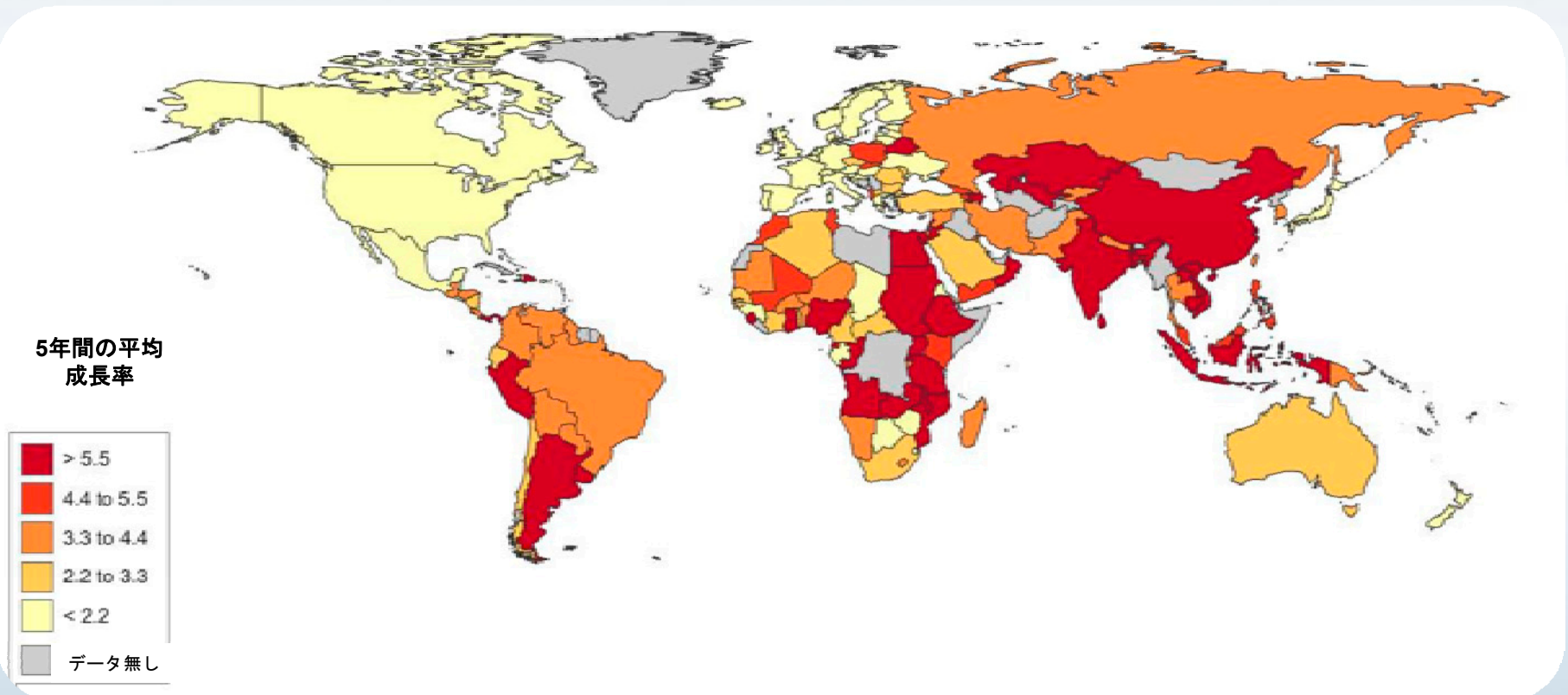
新興市場への直接投資と債券投資は回復

銀行貸付は低迷、低所得国に深刻な打撃



成長の多極化が進行

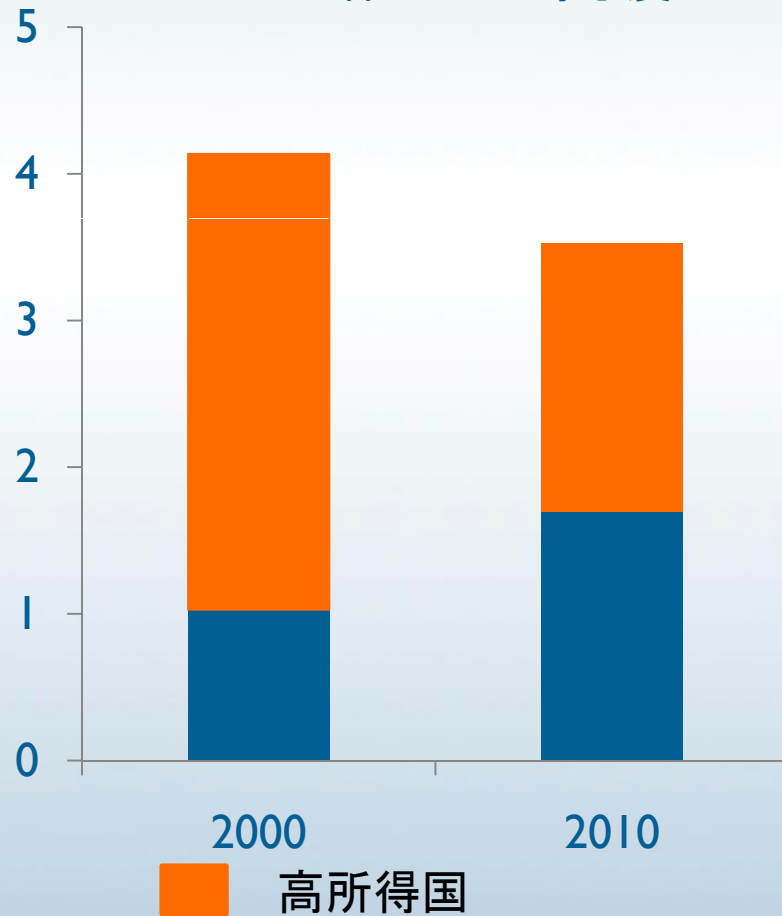
新たな世界需要を牽引



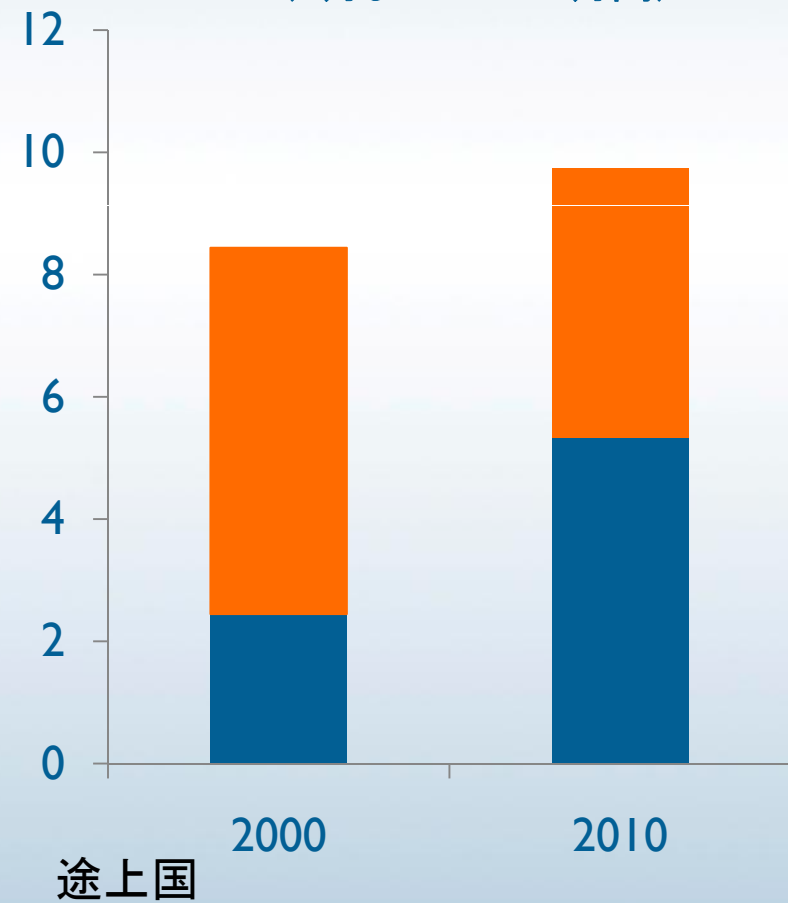
世界のGDP成長率(5年間の平均値)
2006～2010年

途上国が 世界的成長の原動力に

GDP伸びへの寄与度

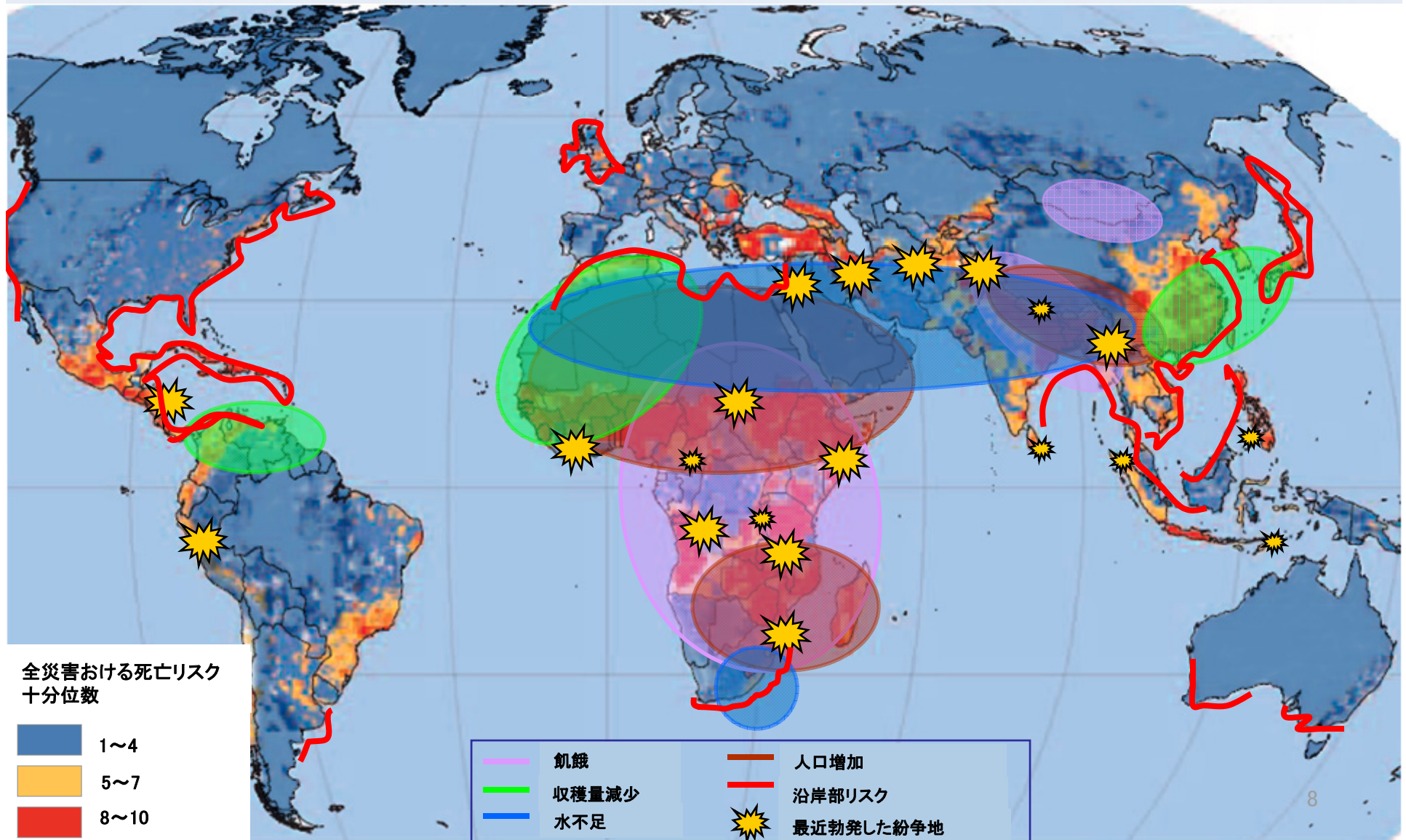


世界の財輸入伸びへの寄与度
(7月までの12か月間)



一方で、価格の乱高下や自然災害のため先行きは不透明

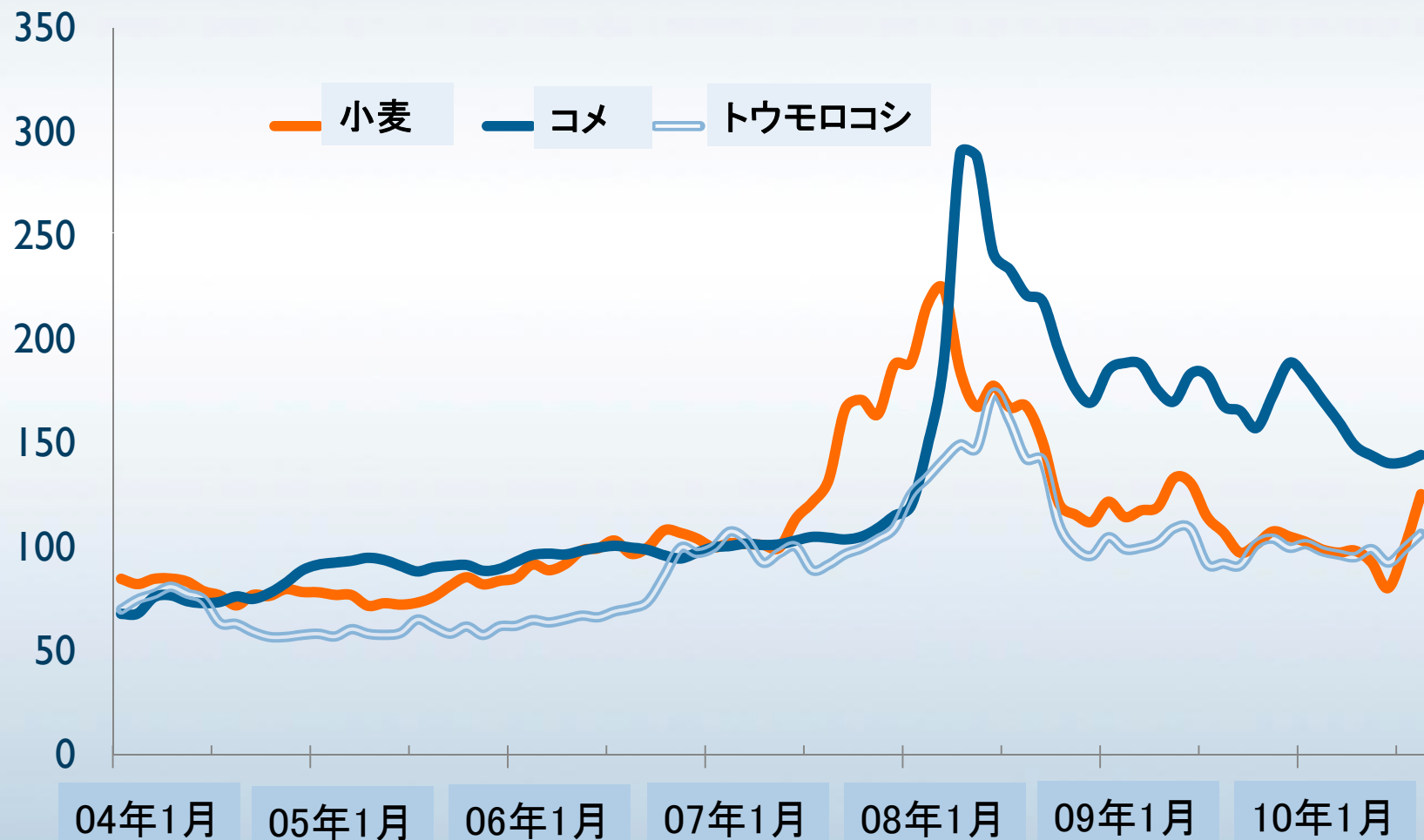
自然災害多発地域と環境・社会的ストレス要因



長引く食糧価格の乱高下

多くの国々に悪影響

価格指数: 2007年1月 = 100

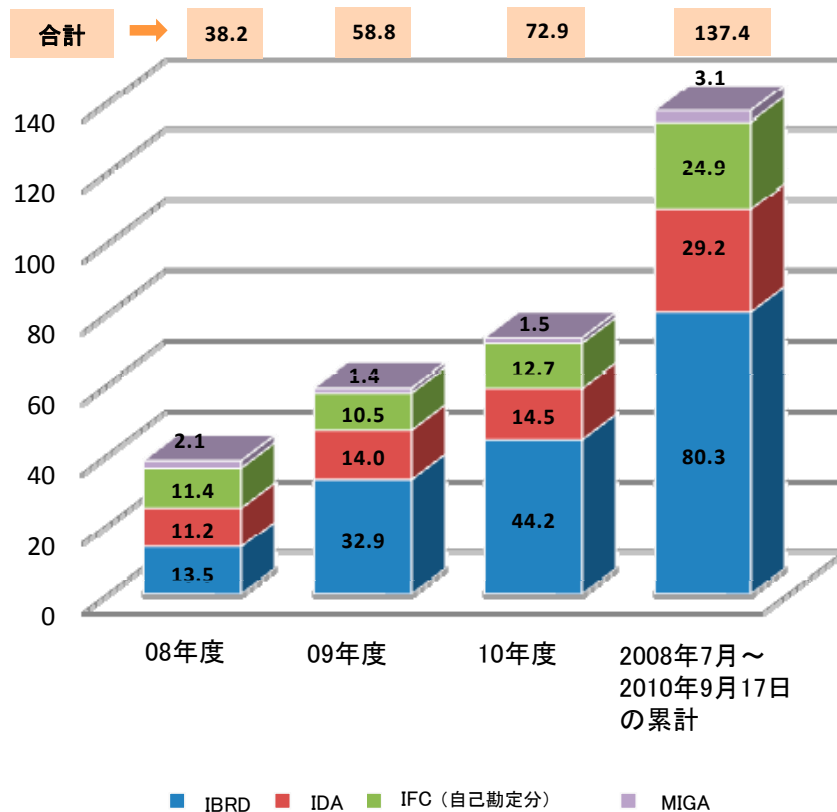


2. 世界銀行グループの対応

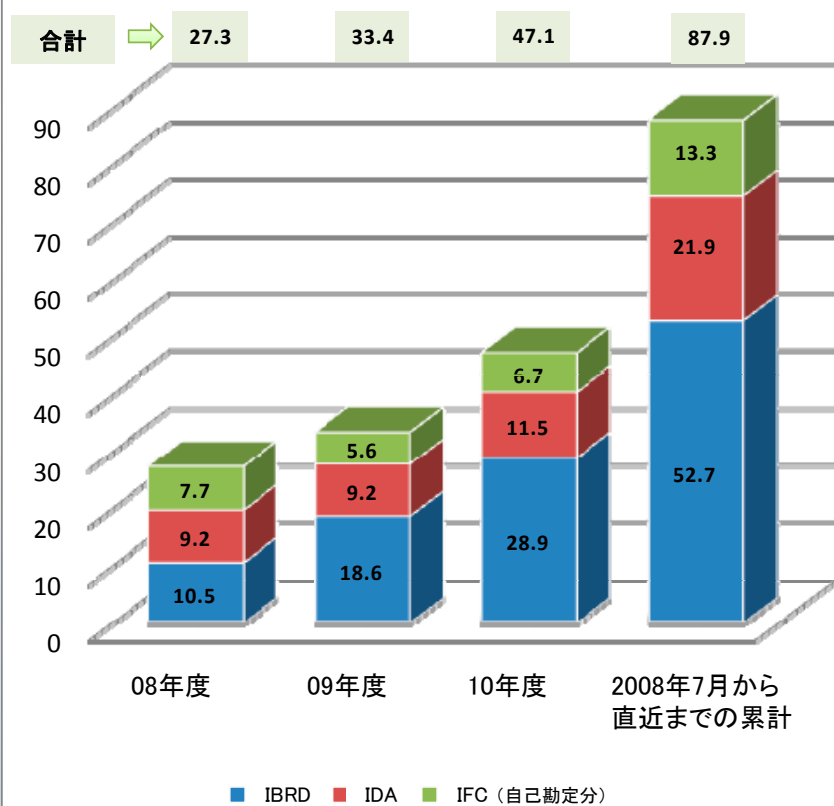
対応

世銀グループのコミットメントと ディスバース過去最高に

世銀グループ・コミットメント(単位:10億ドル)



世銀グループ・ディスバース(単位:10億ドル)



迅速な対応、柔軟性、借入国重視

迅速な 対応

IDAファスト・トラック・プログラムを通じ50か国に15億ドル
パイロット危機対応融資制度を通じ16億ドル
世界食糧危機対応プログラムを通じ15億ドル

IFCの 民間セクター支援

危機対応イニシアティブ支援に60億ドル
グローバル・トレード・ファイナンス/世界貿易流動性
プログラム
マイクロファイナンス、インフラ、銀行資本増強
再生可能エネルギー

MIGA: 柔軟性向上と 新商品

金融セクター向けイニシアティブ実施
保証15億ドル

「ノウハウ」の共有とイノベーションの普及

条件付現金給付システム

社会セーフティネット

インフラ

予算、調達、透明性、説明責任

災害リスク管理

世界的優先課題

農業と食糧安全保障

- 財政支援の拡大: 年間62～83億ドル
- 世界食糧危機対応プログラム (GFRP)
- 世界農業食料安全保障プログラム (GAFSP)
- バリューチェーン強化
- 国際農業研究協議グループ (CGIAR) 改革

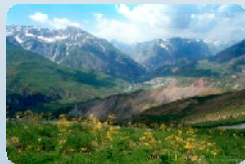
気候変動

- 133か国で気候変動への対応を支援
- 気候投資基金 (CIF) の64億ドルにより、44か国で気候変動に配慮した投資を支援
- 気候変動に関する国連枠組条約 (UNFCCC) 支援 — 基礎

適応



REDD+



ファスト・スタート・ファイナンス



小島嶼国



地中の炭素隔離

炭素市場の改革



テクノロジー



世界的優先課題

ガバナンス・腐敗対策(GAC)

- ボルカー勧告実施 — 防止部局の新設
- 2010年度に306件を完了
- 17か国でGAC戦略集中プログラムを実施
- 国際開発金融機関が相互入札排除に関する覚書を締結 / StAR

ジェンダー

- ジェンダー行動計画
- 「思春期の女子のためのイニシアティブ」を8か国で実施
- 世界開発報告書(WDR)2012でジェンダーがテーマに
- IDA第16次増資におけるテーマ

脆弱性：ガバナンス、開発、安全保障の複合課題

- マルチドナー信託基金の利用：アチェ、アフガニスタン、ハイチ、南部スーダン
- IDA第16次増資のテーマ
- WDR 2011で紛争、安全保障、開発がテーマに



3. 援助効果向上のための改革

有効性

ボイスとガバナンス改革

途上国・新興国(DTCS)の投票権拡大

- IBRD: 47.2% (2008年から4.6%ポイント引き上げ)
- IDA: 46% (およそ6%ポイント引き上げ)
- IFC: 39.5% (6%ポイント引き上げ)

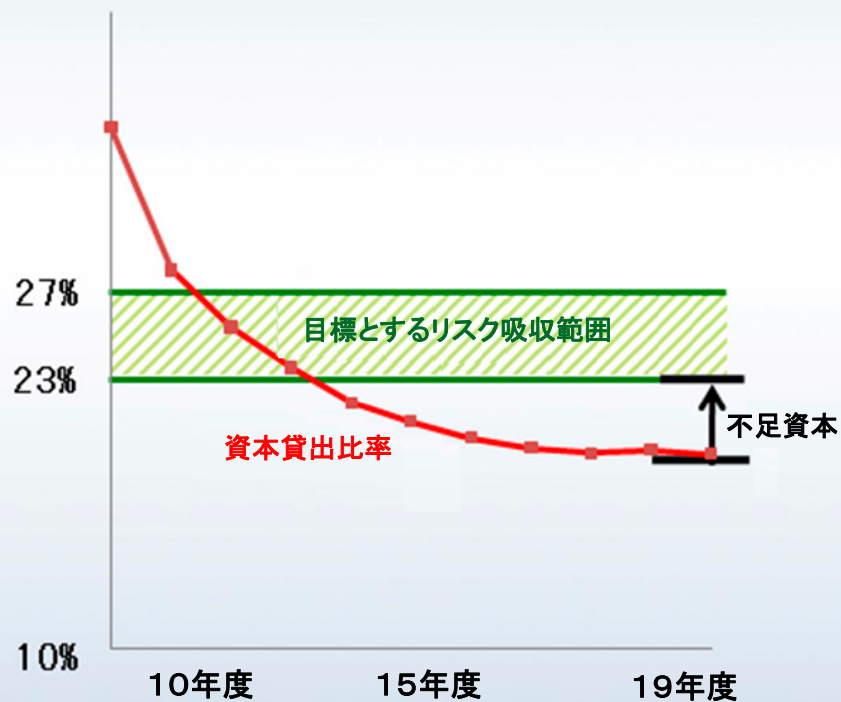
サブサハラ・アフリカを代表する理事1名を増員
(11月1日付)

幹部職員の国籍・人種の多様化

融資パッケージの実施

貸出に対する資本不足の予測

2010年春季会合を踏まえたパッケージ



一般増資と選択増資

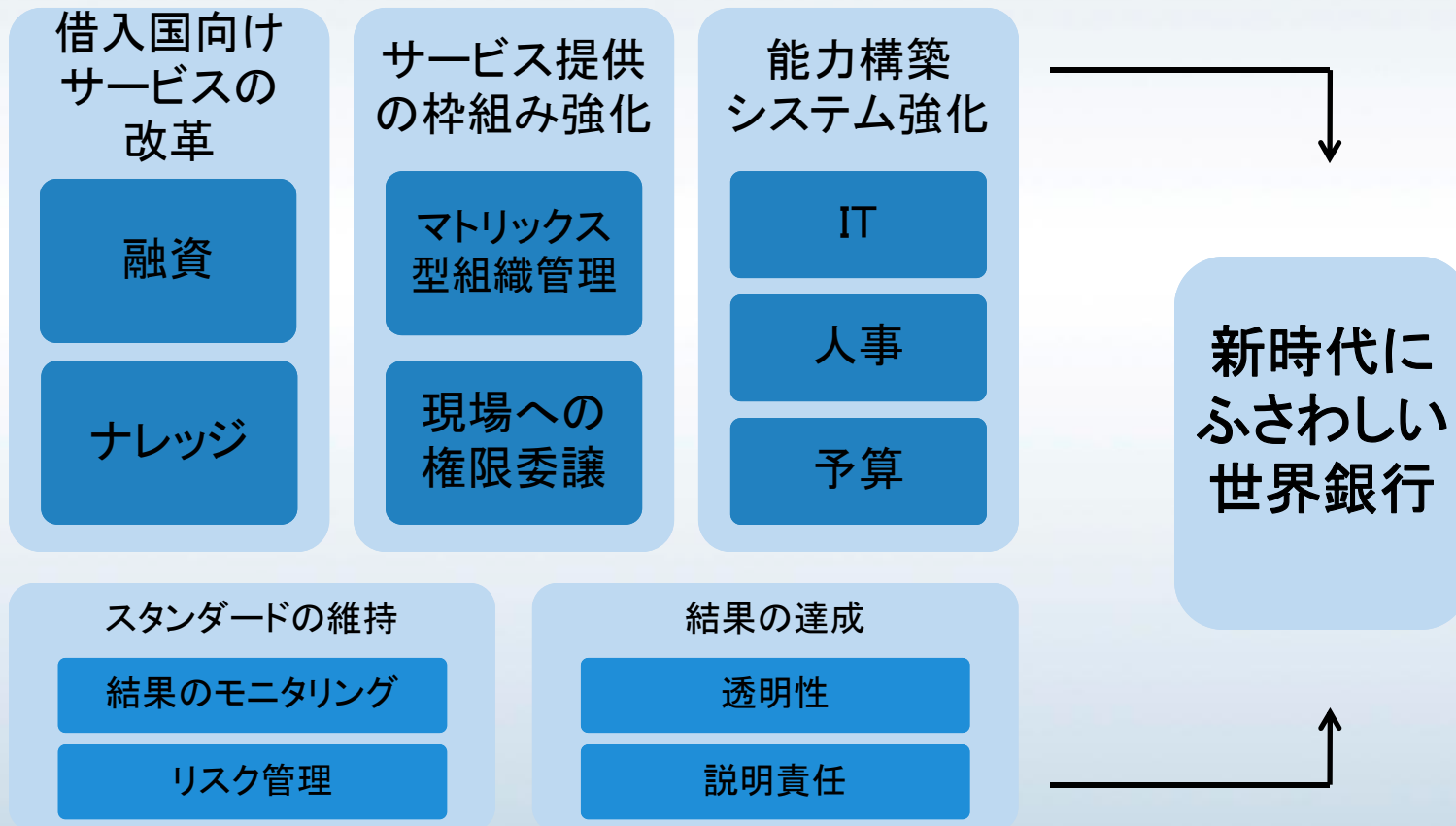
償還期間改革

自国通貨建て払込資本を貸付に解禁

予算規律の継続

機敏性、柔軟性、反応性

結果重視に向けた総合的改革



測定とモニタリングにコーポレート・スコアカードを導入

オープン・データ、オープン・ナレッジ、オープン・ソリューション

オープン・データ

- ・ 4,000件以上の開発指標を無料公開



オープン・ナレッジ

- ・ アナリストに公開 -- PovcalNet、AdePT、Isimulate

オープン・フォーラム

- ・ 開発分野のオープンな議論

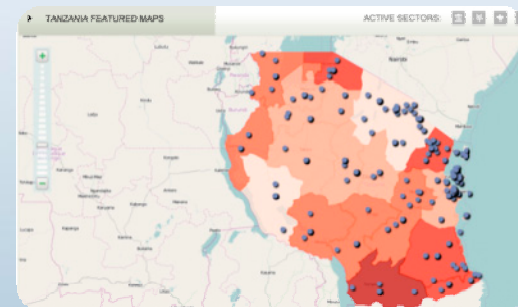


開発アプリケーション設計コンテスト

- ・ 開発問題解決に向けソフト開発を促進

結果のための地図

- ・ プロジェクトの立地の検索と結果の検証



4. 将来に向かって

将来

IDA：世銀グループの最貧国支援機関

IDAは、最貧国79か国（うち39か国はアフリカ諸国）のミレニアム開発目標（MDGs）達成を支援。

独自の強み：

- 需要に応じた国別モデル
- 途上国による援助協調と重点対象の決定を支援
- セクター横断型アプローチ
- 能力開発の支援
- 知識共有と政策助言

IDAの目覚しい発展：

- 27か国が卒業
- IDAドナーが17から45に

結果重視：

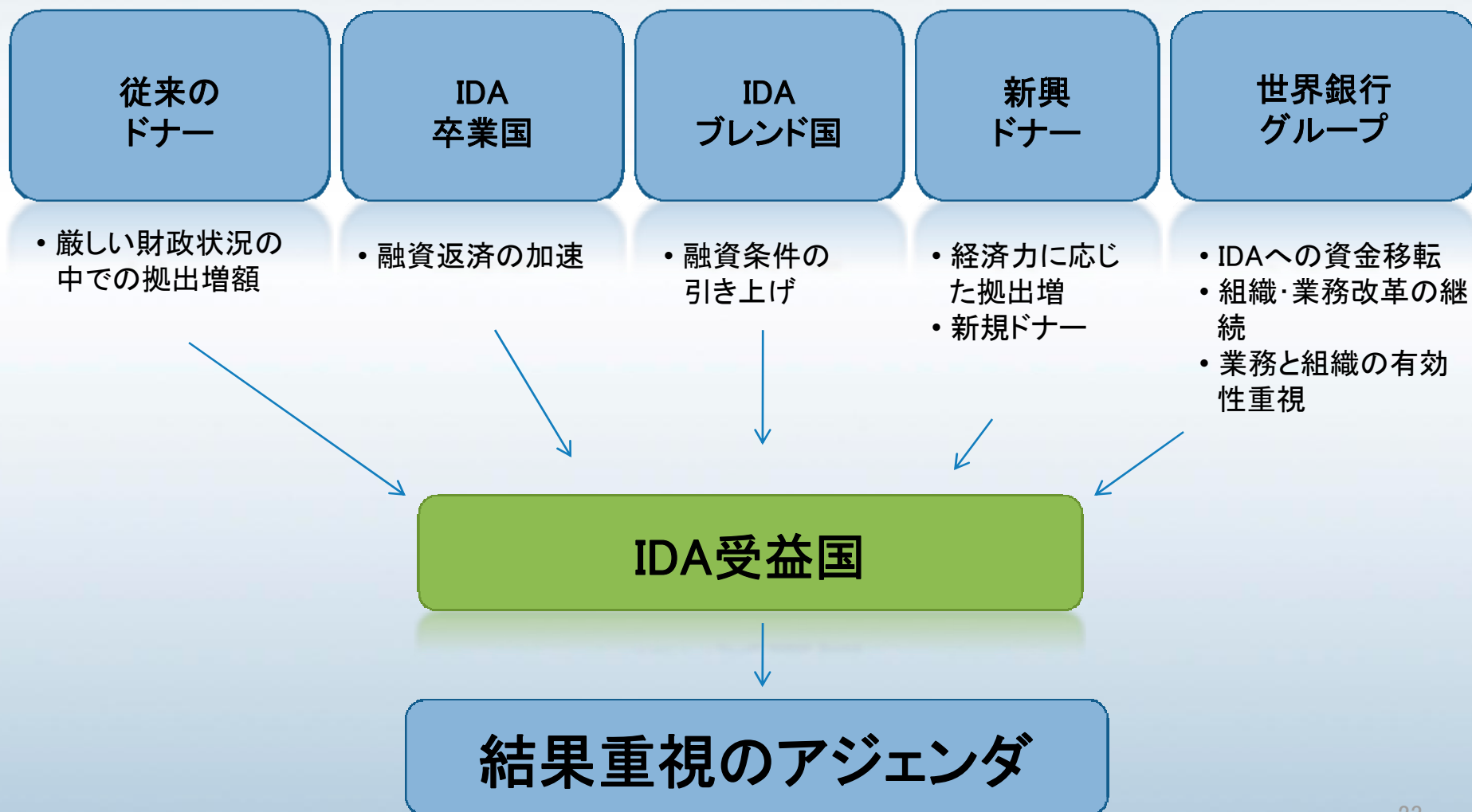
- 国際開発金融機関として初めて体系的な結果測定システムを導入
- 革新的な結果モニタリング・アプローチの試行

主要テーマ：ジェンダー、脆弱な状況、気候変動、危機対応



IDA第16次増資: 国際的協調の確立

増資の成功を目指して



課題と機会

回復の遅れ、失業率の高止まり

- 社会的重圧
- 人口増加
- 貿易摩擦の懸念
- 予算への負担

危機で使い果たした「余裕」を再構築する必要性

特に注意すべき点:

- 最脆弱層の保護と並行した財政再建
- 成長促進のためのインフラ投資
- 自然災害や外的ショックに対するより有効なリスク管理ツール

食糧価格の乱高下

- 食糧安全保障に向けた世界的改革
- 農業生産性と農業生産



課題と好機

成長の源としての途上国

- 民間投資の促進
- IFCアセット・マネジメント社の活用、サブサハラ・アフリカおよびラテンアメリカ向け新エクイティ・ファンド

G20とG187

- G20は、主要先進国と新興国の間の協力体制改善に貢献
- 持続可能な回復、バランスのよい成長のための調整、世界的な経済問題への対応
- G20以外の国への配慮
- 貧困層と小さな途上国の利害に特に配慮
- WBGと国際金融機関の役割：知識と資源の提供、政策イノベーション促進、全ステークホルダーに関係

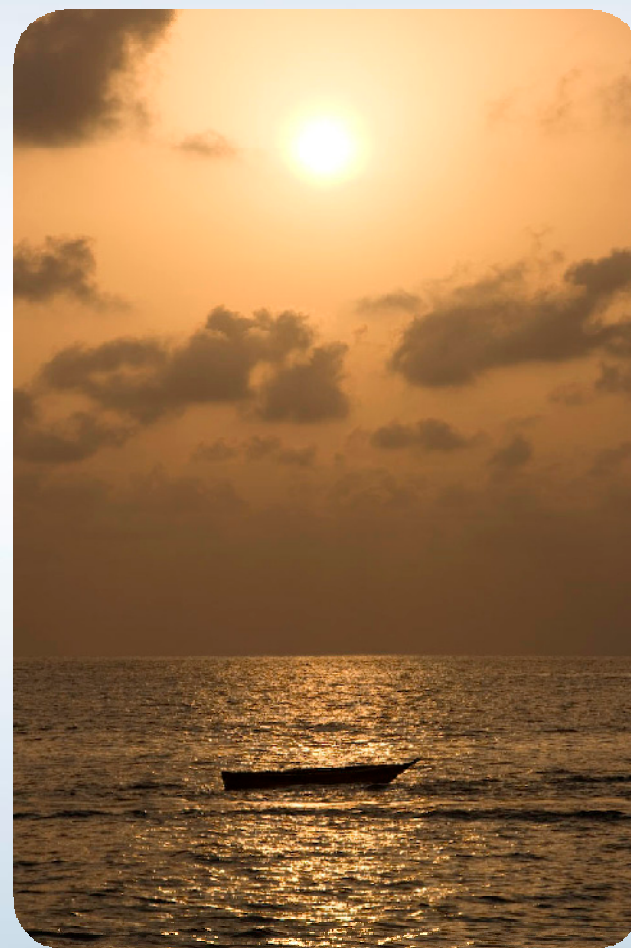


今後の課題

債務管理

債券市場バブル？

利益追求により生じる問題



開発委員会での検討課題

抵抗力

- 外部環境に関する我々の評価は的確か。他に考慮すべきリスクや問題はないか。
- 途上国の今後3年間の外部資金調達の見通し: 証券市場、銀行、直接投資、WBGなどの国際金融機関 (IFIs) から。
- 成長に伴うリスクの削減と持続可能な回復の改善のために、WBGはどのように貢献できるか。

結果

- 開発成果の追跡・報告に関するIDAの経験は、今後の結果評価の適切なスタートとなっているか。

改革

- 世銀の政策上優先される主要分野を調整または修正すべきか。
- 途上国向け民間投資のさらなる誘致と途上国での民間セクター構築のためには、他にどのような施策やイニシアティブを考慮すべきか。
- 世銀加盟国は、組織・業務改革やガバナンス向上のアジェンダに対し、他にどのような助言ができるか。

開発委員会での検討課題

今後の課題

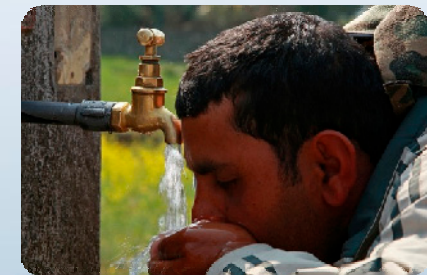
- IDA第16次増資(IDA 16)の成功には、世銀およびドナーは、他に何をすべきか。
- 世銀がG20とG20以外の加盟国に対して、それぞれ効果的に支援を行うためにどのような提案があるか。
- 加盟国は、農業と食糧安全保障の課題のため世銀がさらに行うべき業務について提案があるか。
- 加盟国は、途上国に対する気候変動対策資金援助と国連気候変動枠組条約(UNFCCC)への支援のため、WBGがどのような役割を果たすべきと考えているか。



参考1: IDA支援による結果

IDA第 12～15次増資により:

- IDAを通じて救われた人命 — 1300万人
- 予防接種を受けた子供たち — 3億1000万人
- マラリア防止のために購入・配布した蚊帳 — 3330万帳
- より良い水源へのアクセスを確保 — 1億1300万人
- 産前の妊婦ケアを受けた女性 — 250万人
- ヘルスケア・サービスの質向上のために訓練を受けた保健従事者 — 180万人
- 研修を受けた教員 — 300万人以上
- 建設された教室の数 — 200万以上
- 復興・建設された道路 — 全長11万8000キロ以上
- 民間セクター管理の改革を実施 — IDA適格国全体の60% (IDA 14および15)



参考2: IBRD 支援による結果

過去10年間:

- 水へのアクセス確保－2000万人以上。下水道アクセス－1000万人
- 水資源管理の向上－1億人に便益
- 通信セクター向け支援－40か国以上
- 2007～09年にかけて建設・復興された道路の全長－4万キロ以上。修復・維持された道路－4万キロ



参考3: IFCプロジェクトの広がり

2009年、IFCクライアントが達成した結果:

- 雇用—220万人
- 零細・中小企業向けローン—1120億ドル
- ヘルスケア・治療を提供した患者—800万人
- 清潔な水へのアクセス—3500万人
- 電気の供給—2900万人
- 教育サービスを提供した学生—140万人





2010

ANNUAL MEETINGS

International Monetary Fund
World Bank Group

Washington, D.C.

国際通貨基金・世界銀行グループ

2010年年次総務会

ワシントンDC